



校長室 だより

平成29年2月3日
尼崎市立常陽中学校
校長 小谷 豪郎

No.13

1.17 地域防災訓練

阪神淡路大震災から22年が経過した本年、武庫地区会場として「地域防災訓練」を実施しました。



当日は、寒波の中にもかかわらず地域の3連協の方々に沢山参加していただき、誠に有り難うございました。生徒たちもいつもの訓練とは違い、緊張感をもって参加できました。

水道局の方には、本校の東門の内側で技術棟前の地下に設置されている緊急時用の給水タンクについての説明と、実際にそこからからの給水訓練を1年生が、体験させていただきました。



運動場では、消防署の方から災害時の傷病者への対応、搬送方法などについて教えていただきました。

被災者の方たちの負傷部位や歩行が可能か否かなどの判断により「トリアージ」を行い医療スタッフが来るまでに対応する



武庫荘総合高等学校の生徒も参加して、担架での搬送訓練を体験してもらいました。

最も注意する点は、進行方向は足先から、ということです。

トリアージをして自力歩行が不可能な傷病者が、黄色のグループに分担され医療関係者を待ちます。緑・黄・赤・黒、の4段階に分類され危険度の高い赤から処置を受けると言うことです。



当日、1時15分の訓練地震発生から、運動場へ避難した後津波情報発令から、体育館への垂直避難、1・17の追悼式、応急給水訓練、消火訓練、救護搬送訓練、炊き出し訓練試食等盛りだくさんの行事でしたが、生徒たちは整然と行動ができ、訓練視察に来られていた方や参加いただいた皆様から、お褒めの言葉をいただきました。

授業公開・研究授業

本年度から、学力向上事業の一環とした授業改善を目指し、アクティブラーニングについて研究を進めてまいりました。夏季休業中には大学教授を招聘し職員研修を実施するなど、この1年間取り組んできたことの発表の場を設け公開授業を実施しました。



課題に対して各班で意見を出し合い、考えをまとめていく、解らないところは、教え合って解決していくなど、「自ら学ぶ意欲を持ち、共に高め合う授業の工夫」を研究テーマにして、学力向上に取り組んできました。



立春を迎え、季節は春へ

新年を迎え、あっという間に1ヶ月が過ぎ立春を迎え季節は春へと進んでいます。校庭の紅梅の蕾もふくらみもうすぐ咲きそうです。白梅は既に咲き始めています。自然界では春に向けての準備が、着実に進んでいることを感じます。



また、嬉しくない話題ですが、春に向けてそろそろ花粉が飛び始める、そんな情報もあります。目がかゆくなったり、鼻水が止まらなかったり、花粉症対策も早めに始めると効果があるそうです。

特に受験生の3年生は、インフルエンザの流行と共に花粉対策のためにも、マスクの着用やうがい・手洗いなどにいつも以上に気を配って下さい。

来週10日は私立高校の入試があります、その次の週15日には公立高校の推薦・特色選抜の入試があります、明るい春を迎えるために、悔いを残さないよう全力で取り組んで下さい。卒業式まで残りの登校日数は、『25日』しかありません。1日1日を大切に過ごして下さい。



1・2年生は、全力で突き進め！～更なる高みを目指して～の「生徒会スローガン」を実践するためにも、先輩たちの姿をしっかりと見て、肌で感じて良き伝統を次の学年へと繋いでいき、新しい伝統を築いていくことを意識してください。

新入生を迎えるにあたり、学校生活の良き見本として学習面や部活動、学校行事への取組など今以上に意欲的に取り組んで行って下さい。

【今月の言葉】

『自分を超越する方法』

できるか、できないかではなく、やりたいか、やりたくないか。不可能は、自分が作った錯覚にすぎない。絶対に成功すると思いつけた者だけが成功するし、思い続けられれば、それだけでも成功者だ。奇跡は起こるものではない、奇跡は自分で起こすものだ。夢は、折れなければ実現する。